

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館  
令和元年度 第2回 定時理事会  
議 事 録

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

令和元年度第2回定時理事会議事録

日時 令和2年3月26日(木)  
午後1時55分 開会  
場所 調布市教育会館  
302研修室(3階)

理事(6人中3人出席)

理事長	武者小路 知行
常務理事	大 木 正 勝
理事	濱 嶋 稔

監事(2人中2人出席)

監事	新 井 七 吾
監事	源 後 哲 郎

相談役	福 田 宏
-----	-------

事務局	事務局長	福 島 さとみ
	次長	伊 藤 陽 子
	主幹	生 野 正 毅
	総務係主任	石 井 めぐみ

(午後2時48分 閉会)

## [議事次第]

### －理事長挨拶－

## 第1 議題

### (1) 審議事項

- ア 議案第1号 令和2年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画（案）について
- イ 議案第2号 令和2年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算（案）について

## 第2 その他

- ・新型コロナウイルス対応について
- ・文化財レスキューについて
- ・春の特別展「『白樺』創刊110年 文学の道」－13年5ヶ月の軌跡－について
- ・東京2020大会応援プログラムへの参加認証について
- ・令和2年度の職員体制について

○事務局長　本日ご出席の理事、監事の方がおそろいになりましたので、令和元年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館第2回定時理事会を開催いたします。

まず初めに、武者小路知行理事長からご挨拶を申し上げます。

○武者小路理事長　何か世の中が大変なことになりまして、武漢から最初にニュースがあったときは、それこそ対岸の火事みたいな印象で聞いていたのですが、思わぬ飛び火が世界中に広がって、オリンピックも延期ということになりまして、この後ご説明があると思いますけれども当館でもいろいろ影響が出てまいりましたので、皆様方のご健康にはぜひご注意ください。

今日はお忙しいところ、またこういった中、わざわざご足労いただきましてありがとうございます。

○事務局長　ありがとうございます。

それでは、理事会を開会いたします。議事の進行は、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第33条の規定により、理事長が行うことになっております。それでは、武者小路理事長、よろしくお願いいたします。

○武者小路理事長　それでは、私が議長を務めさせていただきます。

議事に入ります前に、本日の理事会の効力について事務局からご報告をお願いします。

○事務局長　本日は理事6名のうち3名の出席を確認しております。また、欠席された理事、安本理事、柏原理事、岩本理事の3名につきましては、議案内容についてご説明した後、議事決定に係る委任状を頂戴しております。以上のことから、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第34条に定める定足数に達していることをご報告いたします。

○武者小路理事長　次に、本理事会の議事録の署名につきまして、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の定款第37条の規定により、理事長である私、武者小路知行と、本日出席されている監事のお二人、新井七吾監事、源後哲郎監事をお願いすることにいたします。よろしくお願いします。

それでは、議事次第のとおり進めてまいりたいと思います。

初めに、議案第1号「令和2年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画（案）について」及び議案第2号「令和2年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算（案）について」を議題といたします。

議案第1号及び議案第2号については、事務局から一括して説明を頂いた後、それぞれの質疑に入りたいと思いますが、よろしゅうございますで

しょうか。

（「異議なし」の声あり）

○武者小路理事長　それでは、事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局次長　それでは、ご説明申し上げます。議案第1号「令和2年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画（案）について」。

上記の議案を提出する。令和2年3月26日。提出者、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事長、武者小路知行。

提案理由。一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第8条の規定により、理事会の決議を求めるために提案するものであります。

それでは、お手元の事業計画（案）を御覧いただきながらご説明を申し上げます。令和2年度でございますが、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館が、指定管理者に指定された二期目の10年間のうちの2年目ということになります。令和2年度は東京2020オリンピック・パラリンピックの開催予定の年でございますので、そちらを契機といたしました応援プログラムなどの参画事業を推進しております。

事業運営全体といたしましては、日本で唯一の「実篤・白樺・新しき村」の情報発信基地、そして市民の誇れる文化施設としての役割を果たしてまいります。また、実篤記念館と実篤公園・旧実篤邸の効果的な相互活用によりまして、一層調布の文化施設としての魅力を高めていくということの方針としてまいります。

次に、2ページへ移らせていただきます。重点的な取組と、それから事業概要などを併せてご説明申し上げます。

重点的な取組でございますが、2ページの下の方の段でございます。令和元年度に博学連携推進のためのワークショップを行いまして、ミュージアムアドバイザーから提案を受けております。こちらを受けまして、具体的に進めていくということを令和2年度の重点項目といたしております。新学習指導要領がスタートしておりますので、そちらに対応して実篤記念館が持つ豊富な作品・資料や情報を生かして、新学習指導要領にうたわれております社会に開かれた教育課程の実施に関して学校との連携を進めてまいります。

4ページの普及事業のところの段落で2段落目のところにもその関連でご説明しておりますが、武者小路実篤の作品であるとか、それから「自分も生き、他人も生き、全体も生きる」というような実篤の考え方などについて教材を提案していく、あるいは主体的・対話的な学習の場や文学・美

術の鑑賞の機会などを提供していくこと、それから学校が利用しやすい体制作りということに努めてまいります。

戻りまして2ページの下の方の段になりますけれども、令和2年度は2020年、『白樺』の創刊110年の年ということになります。こちらを記念いたしまして武者小路実篤記念館としましては春と秋の2回、『白樺』110年を特集して展覧会を、特別展を開催いたします。春は文学に関しまして、「『白樺』の文学がどのように評価されていったのか」をテーマとした展覧会、秋には「日本の近代美術に大きく影響を与えた『白樺』の美術紹介について」をテーマとした展覧会ということでございます。

タイトルなどにつきましては6ページの展示事業のところに掲げてございます。特別展として、春が「『白樺』創刊110年 文学の道」ー13年5ヶ月の軌跡ー、秋が「『白樺』創刊110年 美術への情熱」ー160冊に込めた思いーというタイトルで開催を進めてまいります。

続きまして、また3ページに戻りまして(3)のところ、東京2020応援プログラムといたしまして、企画展「実篤、欧米へ行くーベルリン観戦と美術行脚ー」を開催いたします。2020大会は1年間延期ということにはなりましたが、事前の環境の醸成という役割は果たせるものと考えております。武者小路実篤が昭和11(1936)年にベルリンオリンピックを観戦しております。その様子、それからその旅行のときに現地で実際の西洋美術をたくさん見てきている、あるいは作家に会ってきているという経験をしておりますので、そういったことの紹介と、それを通して実篤が主張してまいりました「互いの個性を尊重し、共に歩む」というメッセージ、生き方が、東京2020大会のテーマである「多様性と調和」というものと合致しているということで、そういった作品、実篤の考え方をご紹介します展覧会としてまいります。

こちらは、この資料の一番最後のところに展示日程がございますけれども、7月から8月にかけての会期、本来でしたらちょうど大会が行われている期間だったんですが、この期間で夏休みの期間に合わせて開催いたします。

続きまして、3ページの(4)になりますが、令和2年度は隔年で実施しております調布市文化会館たづくり展示室での移動展を実篤記念館が担当する年ということになります。令和2年度のテーマといたしましては、昭和60年の開館より後に様々な資料・作品が提供されてきているということがございますので、そういったものの中から名品を特集する展覧会と

して開催いたします。タイトルなどにつきましては6ページ、それから17ページにもございますが、「愛と美の宝庫」―実篤記念館収集名品展―という形で開催いたします。

重点項目としては、その後に他施設との連携の推進、それから旧実篤邸の保存と活用、それから作品・資料の保存環境の整備ということを進めてまいります。

事業概要のほうに進ませていただきますが、今、ここまでのところで展示・普及については併せてご説明させていただきました。

それで、資料収集・管理に関しましては引き続き収集、それから購入などについての手続と、それから情報提供などに努めてまいります。

資料整理と保存に関わりましても、後世に伝えていくための保存環境の整備、それから整理などによる情報の公開に努めてまいります。

それから閲覧サービス・情報公開に関しましても、閲覧室でのサービス、それから調査などに対する回答、それから情報提供システムなどによります情報公開に努めてまいります。

4ページの(6)調査・研究事業についてですが、令和2年度に開催を予定しております春・秋の特別展による『白樺』創刊110年のテーマとしたものにつきまして、これまでに蓄積してきた様々な資料と情報を生かし、さらにこれまでに紹介してきていない文献などを調査して新しい資料と情報の発見に努めております。また、オリンピック・パラリンピック大会に関しての展覧会に向けましても、実篤とオリンピックの関わりについて、関連資料の研究と情報収集を進めてまいります。

(7)に当たりますが、自主事業でございます。物販につきましては、引き続きまして自主財源を殖やすということ、それから実篤についてのPRの1つの形としての物販事業というものがございますので、魅力あるミュージアムグッズの作製などを行い、それによりまして普及事業のさらなる充実をサポートしてまいります。

5ページの(8)になりますが施設管理でございます。武者小路実篤記念館の建物は本館のほうは35年たっておりますし、新館のほうも20年を越しておりますので、様々な老朽化による不具合、劣化などによる不具合というものの発生件数が増加しております。そういったものにつきまして適切に保存環境と展示環境の確保、それから利用者の安全、快適性の確保ということで整備、それから点検などに努め、また市に対して情報提供して今後の対策を立てていくよう努めてまいります。

令和２年度に関しましては、地下収蔵庫と１階をつなぐエレベーターの改修工事を行うということと、それからトップライトガラスの熱割れによるひびの改修工事、修繕工事というものが計画されております。こちらは調布市が実施する工事でございますので、そちらに協力してまいります。

また、展示室・閲覧室、それから地下収蔵庫の空調につきましては大変調整の難しい状況が続いておりますので、現在も稼働の調整を日々行っておりますけれども、引き続きモニターして、それから稼働調整に努めるということ、それから何らかの対策が必要である場合につきましては市との連携を図ってまいります。

篤記念館の案内サインにつきましては、公共サインの整備ガイドラインに基づいて現在改修を進めておりますが、デザインの統一、英文表記なども加えまして分かりやすい案内サインの整備に努めてまいります。

５ページの（９）財団運営でございます。指定管理期間が令和元年度から１０年間になっておりまして、財団といたしましては長期的な展望を持って事業計画に取り組むことができる、また人材確保と育成を図ることができるようになっております。職員のスキルアップを図り、職場環境を整備し、安定した財団運営と事業内容の充実につなげてまいります。

今年度、令和２年度に関しましては、人材育成につきまして世代交代を図っていくために、財団内部の実際の実務を通しながらベテラン職員から若手職員への知識と技術の継承をさらに進めてまいります。また、専門分野となります事業、それから総務分野と幅広い研修などに参加して、業務の資質の向上を図れるよう育成に努めまいります。また、人材育成の観点からも、人事評価制度の導入に向けて準備を進めてまいります。

費用に関しましては、事業収入の安定的な確保に努め、また自主財源の確保をしてまいります。利用者のへサービスを低下させないように効率的、効果的な運営を行うことによりまして経費の抑制を図ってまいります。

また、引き続きアンケートなどによりまして利用者のニーズを把握して、満足度の高い事業の提供、利用の促進に努めてまいります。

細かい事業内容につきましては６ページ以降の表にまとめてございます。

雑駁でございますが事業計画についてのご説明といたします。

○事務局長　引き続き、議案第２号、令和２年度予算（案）の説明を続けさせていただきます。議案第２号「令和２年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算（案）について」。

上記の議案を提出する。令和２年３月２６日。提出者、一般財団法人調



布市武者小路実篤記念館理事長、武者小路知行。

提案理由。一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第8条の規定により、理事会の決議を求めるため提案するものでございます。

では、予算書（案）を御覧いただきたいと思います。1ページから順に、本日は簡潔に進めさせていただきたいと思っております。令和2年度の予算書は、昨年度より財務諸表に連動した予算形式に変更しております。このことから、1ページ目が事業活動収支の部ということになっておりますので、そちらからご説明をさせていただきます。

第1ページ、総括表、Ⅰ事業活動収支の部、事業活動収入でございます。当財団の予算は、調布市からの補助金、指定管理料、受託事業費、利用料収入によって展示・普及及び資料管理事業と施設管理事業を運営する一般会計と、物品販売事業と自主事業を展開する特別会計で構成されております。これらの2つの会計を総括した表となっております。

それでは、ご説明を進めさせていただきます。1補助金です。8,941万3,000円で昨年度より103万5,000円の増でございます。こちらは人件費と、それから財団の運営に関わる事務費からなっております。

2指定管理料でございます。市からの指定管理料3,013万3,000円でございます。前年より71万9,000円の減でございます。隔年で環境調査と燻蒸を交互に実施しております。令和2年度は環境調査の年に当たり、前年度の収蔵庫燻蒸との費用差、修繕費用の減によるものが主な理由で指定管理料の減となっております。

3受託事業収入でございます。実篤公園の日常管理費と受託事業、展覧会受託からなっておりまして718万8,000円、昨年より39万6,000円の増となっております。実篤公園の日常管理に関しては、基本的には緑と公園課から頂いている日常管理委託料収入でございます。受託事業の展覧会受託については、令和2年度は現在具体的な依頼がございませんが、年度途中でのお話もございますので、予算科目を設定するため合計6,000円となっております。

次に、4利用料収入です。実篤記念館の入場料と、それから特別撮影料からなる利用料と、それから頒布料収入からなっております。併せて

130万円、増減はございません。ただ、これまでの平均的な入館者数と頒布売上げを反映した額となっておりますが、今後コロナウイルス感染拡大防止等の対応でさらに休館となる場合は、実際は利用料収入の減となる

状況も考えられると考えております。

5 諸収入でございます。40万1,000円で昨年度より5万円の増となっております。3 雑収入の自動販売機飲料の売上げが比較的堅調であることから5万円増ということになっております。

6 自主事業収入でございます。主に物品販売事業でございます。合計が628万5,000円。69万7,000円の減でございます。物品事業収入では前年度から56万円の減となっておりますが、令和元年度の物品売上げ状況と、またコラボ企画などが実施された場合にも対応できる金額を設定させていただいております。

次に、2 ページをお願いいたします。上から2 段目、事業活動収入の合計が1億3,472万円で、昨年より6万5,000円の増となっております。

事業活動支出でございます。支出に関しては後ほど、5 ページ以降で詳しくご説明させていただきますので、総額でご説明させていただきます。

1 管理費、2 事業費、それから3 施設管理費、4 自主事業費の支出から、合計事業活動支出は1億3,467万円で6万5,000円の増。そして事業活動収支差額が5万円となっています。こちらは、後ほど出てきます予備費に対応するものでございます。

次に、3 ページをお願いいたします。Ⅱ 投資活動収支の部でございます。投資活動収入はゼロ円、投資活動支出もゼロ円となっております。昨年度、前年度に関してはショップコーナーの家具製作のために100万円計上しておりましたが、この作業が終了することから今年度はゼロ円ということで計上させていただいております。

次に、Ⅲ 財務活動収支の部です。財務活動収入、支出ともゼロ円で、収支差額もゼロ円となっております。

次に、4 ページを御覧いただきたいと思います。Ⅳ 予備費支出でございます。予算額5万円で、前年度の予算と増減はなくゼロ円でございます。これよりまして当期の収支差額はゼロ円。前期繰越収支差額の183万3,000円が次期繰越収支差額183万3,000円と同額になる状況でございます。

次に、5 ページを御覧いただきたいと思います。科目別一覧で事業活動収支の部、事業活動収入でございます。こちらは先ほどの総括欄でご説明させていただきましたので、先に進めさせていただきたいと思います。

次に、6 ページをお願いいたします。支出科目の一覧となります。こち

らを御覧いただきながら、支出を具体的に説明させていただきたいと思いをします。1 管理費でございます。財団の運営に関わる職員、非常勤、臨時職員の人件費と、それから財団運営に関わります事務費からなっております。

管理費人件費は7,964万円、前年度に対して129万5,000円の増となっております。今年は職員構成が変わる関係でかなり大きな増減がございますので、少し丁寧にご説明させていただきます。

職員給料の前年比はマイナス38万円でございますが、再任用職員の勤務日数が月16日から月12日、月4日減ということから減の幅が大きくなっております。これに対して職員の定期昇給に関しては対応しておりますので、マイナスの部分が多いということになります。

次に、職員の手当でございます。2,064万3,000円、前年度より14万円増ということでございます。こちらは定期昇給に伴う部分と、それから令和元年度の給与改正に伴う増額となっております。

次に、嘱託報酬です。1,318万9,000円で、前年度より317万3,000円増でございます。こちらは、これまで非常勤嘱託は事務嘱託1名、専門員2名の3名でございましたが、事務事業の引継ぎも兼ねて事務嘱託1名を増とすることになりました。このために、その1名増に関わる費用がこちらに挙がっている増の理由でございます。

次に、4 臨時職員給料です。予算額は618万円で、前年度に対して143万円減となっております。こちらは事務嘱託1名を増としたことに対して、事務補助（受付事務）が3名おりましたが、そのうち1名を減とすることで対応させていただきました。また、令和元年度の臨時職員の時給が上がっておりますので、そちらにも対応させていただいております。

それに対して、5 臨時職員の諸手当で25万5,000円。9万円の減ということで、これは事務補助の1名減に伴うものでございます。

社会保険料の支出でございます。予算額は1,077万5,000円で、前年度に対して18万9,000円減でございますが、再任用の勤務日数の減、事務補助の1名、こちらが介護保険に関わる人数、社会保険対象でございましたので、そういった意味で社会保険料が全体に減額になっている状況でございます。

7 福利厚生費に関しては増減はございません。

8 負担金に関しては1,000円の増ということでございますが、これは社会保険協会の会費の増ということでございます。

旅費は40万5,000円で、前年度より7万円増ということで、先ほ

ど事業計画で申しました『白樺』110年の展覧会の関係で借用先が倉敷の大原美術館ということがございますので、そういった理由で増額となっております。

次に、2事務費でございます。総額977万3,000円で26万円の減となっております。こちらは経費縮減等を行うことで対応していきたいと考えております。

それで管理費合計が8,941万3,000円、前年度に対して103万5,000円の増ということになります。

次に、7ページを御覧いただきたいと思います。事業費です。2事業費、これらは実篤記念館の事業に係る費用でございます。普及促進、資料管理事業費、情報提供システム、受託事業費ということで1,834万5,000円、昨年度より129万2,000円増となっております。

1普及促進事業費でございます。1,329万円となり、前年度に対して130万円の増でございます。主に一般事業費の50万9,000円の増、これは東京2020応援プログラムの事業増分で、ポスターやチラシを作成するための費用の増でございます。3役務費は375万1,000円で129万7,000円の増ということに関しては、応援プログラムの事業、それから『白樺』創刊110年記念展覧会によりまして長距離から美術品運搬するというような展示美術品の運搬費、展示作業費が増となることから、このような大きな額の増となっております。これに対して4委託料、405万3,000円でございます。81万6,000円の減となっております。こちらは映像制作の費用がこれまで毎年1本、撮影から編集まで全てをやっておりましたが、今期はこれまで撮っております撮影映像の再編集のみを行うということで費用として減額となっております。5使用料賃借料は52万円で、前年度に対して25万円の増でございます。これは『白樺』創刊110年の記念展覧会に関して、日本近代文学館と大原美術館から作品と資料を借用するに当たっての借用料でございます。

2資料管理事業費でございます。157万3,000円。9万3,000円の減でございます。こちらは経費縮減の努力により対応していきたいと考えております。

3情報提供システム事業費でございます。347万6,000円で8万5,000円の増。令和2年度に関しては、2委託料のほうで8万円増となっております。光回線移行のための再設定の作業が増になることから増となっております。

4 受託事業費です。こちらは科目設定ということで6,000円の計上でございます。

次に、3施設管理費でございます。合計で2,062万7,000円、昨年度より156万5,000円の減でございます。実篤記念館施設管理及び実篤公園の日常管理に係る費用でございます。1施設管理費運営事業費でございます。1,344万5,000円で、196万1,000円の減でございます。光熱水費や消耗品というところでは増になっておりますが、8ページを御覧いただきたいと思います。修繕料のほうで97万6,000円の大幅な減でございます。こちらはエレベーターの修繕の終了など、割と大型で高額な修繕が終了したことによって減となっております。次に、2役務費は36万7,000円となり同額でございます。3委託費でございます。合計575万9,000円で、101万1,000円の減でございます。さきほどご説明しましたように、委託料のほうでは環境調査と収蔵庫燻蒸の契約差額の減によるものが大きな理由となっております。

2実篤公園管理事業費でございます。718万2,000円。39万6,000円の増でございます。1つは一般需用費13万円が実篤公園の管理に係る消耗品として科目が増えたこと。それから、2委託料でシルバー人材センターの単価増、清掃業者の新規契約によるものの増でございます。

次に、4自主事業でございます。合計金額628万5,000円で、69万7,000円の減でございます。全体の収入が減となっておりますので商品仕入れなどにおいて減ということで、515万5,000円の物品販売事業費に対して、前年度より77万7,000円の減となっております。ただし、商品仕入れは55万2,000円ほど減でございますが、限定チョコは好評でございますので、引き続きこちらのほうは販売などの準備を、仕入れを進めていきたいと考えております。また、委託料でございますが、ショップコーナーの改修の委託が終了しておりますので、そのために20万円の計上とし、前年度より12万円の減となっております。

3自主事業でございます。112万円を計上し、前年度に対して8万円の増となっております。次の9ページを御覧いただきたいと思います。増減がございますのは5委託料で、31万5,000円に対して8万5,000円の増となっております。この自主事業に係るところでは朗読会の開催などの委託料がございますが、新規として私どもの財団のほうで

設備、施設の老朽化、不具合が非常に増えております。令和2年度はそれに対応する雨漏り修繕や屋内消火栓ホースの交換とかということで、それは消防設備等で指摘されているものでございますが、当財団が指定管理者となりました当初より問題がかなり深刻になっております。このため、一昨年はミュージアムアドバイザーに施設や設備の修繕等の現状や、今後の修繕時期などを検討するための提言を頂きました。また当館は博物館施設としての要件もあり、特殊な工法での製作をしている箇所が多いこと、全体の意匠との兼ね合いなど修繕にも専門的な判断を仰ぐ機会が増えております。このため、財団としては専門家に修繕方法や対処方法を適時にアドバイスしていただき、施工会社に対しては当財団の立場に立って説明、確認していただくことが施設管理業務に必要と考えております。このため、財団の自主事業費の中で施設管理に係るアドバイスを頂くことを令和2年度に関しては試行していくために計上させていただきました。これにより、事業活動支出に関しては合計が1億3,467万円、前年度より6万5,000円増。事業活動収支差額が5万円ということで、後ほどの、先ほども申しました予備費のほうに対応してくるものです。

投資活動収支の部は先ほどご説明したとおりでございます。

10ページを御覧ください。Ⅲ財務活動支出の部、収入及び支出はゼロでございます。

Ⅳ予備費支出でございます。予備費が5万円計上で、昨年度と増減はゼロでございます。当期の収支差額に関してはゼロ円。前期繰越収支差額が183万3,000円でございますので、次期繰越収支差額は183万3,000円となっております。

雑駁でございますが、以上で令和2年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算（案）の説明を終わらせていただきます。

○武者小路理事長      ただいま事務局からの説明が終了いたしました。

初めに、議案第1号「令和2年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画（案）について」、質疑、ご意見はございませんでしょうか。

（「特にありません」の声あり）

○武者小路理事長      特にないですか。

オリンピックは中止になったけれども、一応関連事業はやるということですか。

○事務局次長      はい。既に借用などの依頼も出しておりますので、このまま進行するということで考えております。

○武者小路理事長　　分かりました。

それでは、特にご異議なければ質疑を打ち切って、次に議案第2号「令和2年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算（案）について」、質疑、ご意見はございませんでしょうか。

（「特にありません」の声あり）

○武者小路理事長　　特にございませんでしょうか。

それでは、質疑を打ち切ります。

ご異議なしと認め、議案第1号「令和2年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画（案）」及び議案第2号「令和2年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算（案）」については、了承するという事に決定いたしました。

議題は以上で審議は終了いたしました。その他の報告事項について、よろしくお願いいたします。

○事務局長　　それでは、その他報告事項の案件で、次第の順に従ってご説明させていただきます。

本日お配りいたしました資料が関連の資料でございますので、御覧いただきながらご説明していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策ということで、当武者小路実篤記念館も市の方針に従い、4月30日までの事業に関しては2月末から中止しております。中止しておりますリストに関しては観梅のつどいや親子講座、四中との連携によるコンサートとお点前を楽しむ会など、それからボランティアの活動などや展示室の展示解説などがございます。新年度早々に予定されておりました「実篤に挑戦！」も中止ということで対応を進めることにしております。

この間に学校の休校に伴う対応がございまして、3月の初めから学校が休校になっております。ツイッターで発信することで実篤記念館が「#おうち時間で学ぼう」を提案しまして、武者小路実篤記念館のツイッターで「もっと知りたい武者小路実篤」の解説シートや、実篤公園の自然などをご紹介するものを提案したり、また「#おうち時間で学ぼう」という活用で、ほかの文学館や美術館、自治体のいろいろな方々にご協力いただきながら、2ページ目でございますが、日本現代詩歌文学館、鎌倉文学館、それから北斎館や大塚国際美術館などが参加していただいて、かなり私も知らない美術館や博物館さんたちも参加していただけるような状態になっており、お子さんたちにこういった情報を提案している状況でございます。

す。

昨晚の都知事の自粛の要請により、現在調布市内の社会教育施設におきましては、3月28日から4月12日は臨時休館の方向で動いている状況でございます。休館中の対応については、職員は原則として館に出勤する予定でございますが、時差出勤や在宅勤務については今後対応を検討してまいります。なお、現状では実篤公園は開園していくという方針でございます。ただ、現在開かれております対策会議での指針なり要請なりの方向性が決まってきましたら、また別な新たな対応になっていく可能性もまだ含まれているという状況でございます。

新型コロナウイルスの対応については以上でございます。

○事務局次長     それでは、次の資料でございますが、文化財レスキューにつきましてご説明を申し上げます。

川崎市市民ミュージアムの文化財レスキューに武者小路実篤記念館から職員が参加しております。川崎市市民ミュージアムに関しましては、報道等で皆様もご存じかと思えますけれども、昨年、令和元年10月12日の台風19号によりまして、地下にあります収蔵庫が実質的に全て水没したという状況にございました。それに対しまして様々な美術館関係、博物館関係の団体などからレスキュー要請が入っている状況にございます。実篤記念館といたしましては、全国美術館会議に所属しておりまして、そこから要請がございました。11月7日付の文書がありまして、それに対して私どもから実篤記念館の職員と専門員5名を登録して活動を開始しております。

1枚目に私ども実篤記念館からの参加状況をまとめてございます。めくっていただきましてその後ろに川崎市市民ミュージアムの収蔵品レスキューの状況についての報道発表資料がございまして、こちらに川崎市からの3月13日付の情報が集約してあるんですけれども、こちらでご注目いただきたいところといたしましては、1ページの1の(1)主な経過の中で、令和元年11月15日から外部支援団体によるレスキュー開始と書いてございます。最初のかがみのところへ戻っていただきまして、実篤記念館の活動開始日なんですけど11月14日となっております。これは正式な活動開始が15日だったのですが、武者小路実篤記念館は立地条件としまして川崎市市民ミュージアムに大変近いということがございまして、予備作業からの活動の参加を要請されました。そのために、公式の活動開始は15日なんですけど、実際にはそれよりも前からの活動ということになっており



ます。

こちらの表には簡単な活動内容などが書いてあるんですけども、その後ろにつけました川崎市の発表などにも様々な活動状況、それから文化財等の被害、それから収蔵庫内の様子などございますが、この11月14日の予備作業、15日の予備作業の段階ではまだ環境が整備されておらずで、またこの現場でのレスキューの始まりということもありまして、手探りの状態の中での参加ということになりました。実際のところで申し上げますと、11月12日に実は川崎市市民ミュージアムの収蔵庫内の天井が落下するというような状況があったりということもありまして危険も伴うということ、それから健康被害が出るかもしれないというような、あり得ないような濃度のカビの孢子というような状況などもある中で、そのときに想定し得る装備をしてということでございますが、そういうところから手探りでレスキューに参加するという形になりました。

実篤記念館といたしましては、過去に実篤記念館の近くを流れております入間川の氾濫という経験もございますことから、どういうことが起きるかある程度知っていたということと、逆に大規模な水害が起きたときにどういうことが起きるかということ、それからレスキュー活動の段階的な進行ということの経験を積んでおくことが実篤記念館の今後の万が一の被災の場合に役に立つと考えて、こちらの活動に参加しております。

川崎市といたしましては3月いっぱい一通りの救出を終えたいということで進めておりますので、この後、4月、5月になっていった場合にはまたレスキュー活動は変わってくるものと思われそうですが、また私どもの事業あるいは様々な向こうの条件によって参加できるところには参加し、経験を積んでいきたいと考えております。

次に、春の特別展について資料のご説明を申し上げます。先ほど申し上げました事業計画でご説明いたしましたとおり、『白樺』創刊110年の特別展を春は文学をテーマとして行います。4月25日から6月14日までの会期を予定しておりまして、今お手元にチラシのコピーをお配りしておりますが、ただいまチラシ、ポスター、それからパンフレットなどの印刷にかかっているところでございます。

こちらは、先ほどもご説明申し上げましたが、これまで実篤記念館で開催してきた周年での『白樺』の紹介の中ではなかなか大きく取り上げてこれなかった同時代、それからその後の時代での『白樺』の評価ということを新たな視点として展覧会を構成するということになっております。

続きまして、東京2020参画プログラムについてでございます。東京2020大会の応援プログラムについてですけれども、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館として参画するに当たりまして、応援プログラムの参加認証を受けました。こちらの東京2020大会参画プログラムにおきましては、きちんとした認証を受けて、その上で様々なロゴであるとか文言であるとかの使用の許可を頂くということでございますので、こちらについて認証を既に頂いております。ただいま、これからチラシなどの編集をしておりまして、そちらも内容について認証が必要ということですので、順次編集しながら認証を得て、公式的な参画プログラムとして開催してまいりたいと考えております。

○事務局長　引き続き、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の職員、臨時職員の名簿を御覧いただきたいと思います。令和2年4月1日の予定でございます。基本的には常務理事、事務局長、主幹、次長の体制、それから石井、佐藤、清水の職員体制に変わりはありません。専門員の学芸員に関しても佐々木、鈴木の体制で引き続きやってまいります。事務嘱託員でございますが、工藤京子に加え、市川智尋が非常勤嘱託として新規採用されまして、月20日の勤務となっております。そのほか臨時職員（学芸員）の犬飼、寺田の2名、臨時職員（事務補助）受付担当でございますが小畑、金光については変わりなく、臨時も含めて職員は総勢15名の体制で4月1日から活動していく状況でございます。

次に、それ以外の本日お配りしましたものは武者小路実篤記念館の新聞報道のコピーでございます。「友情」のお言葉とか、9月のラグビーの資料をご紹介したり、それから実篤記念館の展覧会を東京新聞が大きく取り上げていただいたり、実篤チョコ、それから3月17日に読売新聞で先ほどご紹介しましたツイッターでの「おうち時間で学ぼう」というのをご紹介いただいたこと。それから、関連情報ということで実篤の終戦時期や、読売新聞のよみうり寸評、朝日新聞の天声人語、東京新聞の筆洗などで実篤について紹介された記事や、本来ならゴッホの「ひまわり」が東京都の美術館でのロンドン・ナショナル・ギャラリー展で展示される予定でございましたので、そういった関係でゴッホの「ひまわり」についてのいろいろな情報がございまして、そういった中の1つをご紹介しております。

また、事業計画でもご説明しましたぐるっとパス2020のチラシがございまして、今年は99件の参加で、実篤記念館は79番の登録でございまして。

以上で、その他報告及び本日配付しました資料のご紹介を終わります。

○武者小路理事長　何かご質問は特にございませんか。

なければ、第２回定時理事会でのご審議、ありがとうございました。

次の理事会は令和元年度事業報告及び決算についてご審議いただく予定となっておりますけれども、日程のほうが諸事情によりまだ確定しておりません。決まり次第ご案内申し上げますので、よろしくお願いいたします。

本日はご協力ありがとうございました。

○事務局長　ありがとうございました。

(午後２時４８分　閉会)